

# 米子医学会

第190回米子医学会例会

昭和60年3月27日

## 婦朝報告

### 4. ウサギ膀胱平滑筋切片の張力に対する isoproterenol の作用

鳥大泌尿器科 宮川 征 男

isoproterenol による膀胱平滑筋の弛緩は *in vivo* や *in vitro whole bladder study* でみると弱く、*muscle strip study* では強いことが判明しているが、その理由については不明のままである。

この点に注目し、ウサギの膀胱平滑筋を用い *mus-*

cle strip study で isoproterenol の作用を検討した。結果として、isoproterenol の作用は切片の安定性により小さく影響され、不安定型切片では強く、安定型切片では弱いことが判明した。膀胱の体部と基部で本剤の dose-response, time-course, 伸展の影響も調べたが、部位による大きな差はみられなかった。

以上より、本来、膀胱に対する isoproterenol の作用は in vivo, in vitro whole bladder study および muscle strip study の安定型切片でみられるように弱いものであるが、muscle strip study では切片が不安定型になり易く、このため強い弛緩の結果となると推測された。